

商工部新産業・技術振興課
(福岡水素エネルギー戦略会議事務局)
内 線 : 3736, 3737
直 通 : 643-3448
担 当 : 水素班 秋田、大川内、入江

北九州市と同日資料提供

日本初「水素燃料電池スクーター実証」 開始！

～ 北九州市東田^{ひがしだ}で日本初の水素燃料電池スクーター実証が始まります ～

福岡県・福岡水素エネルギー戦略会議^{※1}では、「福岡水素戦略(Hy-Lifeプロジェクト)」^{※2}を展開しています。

社会実証では、北九州と福岡の2カ所に「水素ステーション^{※3}」を整備し、次世代自動車として期待される燃料電池電気自動車等の実証走行を可能とする「水素ハイウェイ^{※4}」を推進しています。

5月17日(火)、スズキ株式会社、新日本製鐵株式会社、北九州市との共催で、北九州水素ステーション(北九州市八幡東区東田)で「水素燃料電池スクーター実証開始式」を開催します。

本実証は、日本初の水素燃料電池スクーターの実証走行です。今後の製品開発に貢献するとともに、水素ステーションから燃料電池自動車以外の多様な水素充填の実績を蓄積します。

当日は、世界で初めて「欧州統一型式認証:WVTA」を取得した実証車両「バーグマンフューエルセル スクーター」^{※5}の技術説明と走行デモンストレーションを行います。

【開催概要】

1. 記念式典

- (1) 日 時 : 平成23年5月17日(火) 15時30分～16時00分
- (2) 場 所 : 北九州水素ステーション(北九州市八幡東区東田1-1)
- (3) 内 容 : 主催者・来賓挨拶、ゴールドキー授受、水素充填及び、燃料電池スクーター走行デモンストレーションなど
- (4) 主な出席者 : スズキ(株)代表取締役会長兼社長 鈴木 修(すずき おさむ)
新日本製鐵(株)代表取締役会長 三村 明夫(みむら あきお)
福岡県知事 小川 洋(おがわ ひろし)
北九州市市長 北橋 健治(きたはし けんじ)
- (5) 主 催 : 福岡水素エネルギー戦略会議(福岡県)、北九州市、
スズキ株式会社、新日本製鐵株式会社

【補足】

- (1) スズキプレス資料「燃料電池スクーター世界初「欧州統一型式認証」取得」(添付資料1)

※1：福岡水素エネルギー戦略会議

水素の製造、輸送・貯蔵から利用までの一貫した研究開発や社会実証、全国唯一の人材育成などに取り組む全国最大の産学官連携組織（2004年8月発足）。

2011年5月1日現在、630企業・機関が会員として参加。

会長は、新日本製鐵株式会社 黒木啓介（くろき けいすけ）取締役

※2：福岡水素戦略（Hy-Life プロジェクト）

「研究開発」「社会実証」「水素人材育成」「世界最先端の水素情報拠点の構築」「水素エネルギー新産業の育成・集積」を柱とした福岡県・福岡水素エネルギー戦略会議のプロジェクト。

※3：水素ステーション

独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が実施中の「水素・燃料電池実証プロジェクト（JHFCプロジェクト）」において実証を行っている。現在、15ステーションが実証運転中。

「JHFCプロジェクト」とは、経済産業省が実施する燃料電池システム等実証試験研究補助事業に含まれる「燃料電池自動車等実証研究」と「水素インフラ等実証研究」から構成されるプロジェクト。

※4：水素ハイウェイ

福岡～北九州間において、次世代自動車として期待される燃料電池電気自動車・水素エンジン車の実証走行を可能とするため、「九州大学水素ステーション（福岡市西区元岡，九州大学伊都キャンパス内）」「北九州水素ステーション（北九州市八幡東区東田）」を整備。

「水素・燃料電池実証プロジェクト（JHFCプロジェクト）」と連携して、水素供給並びに普及啓発活動を実施。

国等と連携して、将来的には、東京への延伸を目指す。

※5：水素燃料電池スクーター「バーグマン フューエルセル スクーター」

スズキ株式会社が2010年から英国において公道実証試験を開始している燃料電池スクーター。

量産型のスクーターをベース車両とし、英国「インテリジェント・エナジー」社が開発した燃料電池システムを搭載。高性能・小型空冷式燃料電池を採用のシステム構成で、実用的な動力性能と航続距離とを両立した。二輪車・四輪車の燃料電池を搭載した車両としては世界で初めて「欧州統一型式認証」を取得している。

スズキ、燃料電池スクーターで
世界初となる「欧州統一型式認証」を取得



バーグマン フューエルセル スクーター

スズキ株式会社が現在英国で実証実験を行っている燃料電池スクーター「バーグマン フューエルセル スクーター」が、二輪車、四輪車の燃料電池を搭載した車両としては世界で初めて「欧州統一型式認証:WVTA(*1)」を取得した。

燃料電池スクーター「バーグマン フューエルセル スクーター」は、スズキが2009年10月の第41回東京モーターショーに出品した、燃料電池システムを搭載した二輪車である。

スズキは、英国の燃料電池システムの開発企業である「インテリジェント・エナジー」社と共同で、英国の技術開発を促進する政府機関(TSB(*2))が主催する燃料電池車の実証実験に、2010年2月より参加している。実証実験は英国中部のラフバラ大学を中心とした地域で行なわれており、スズキは「バーグマン フューエルセル スクーター」1台を使って実証実験中で、今後さらに台数を追加する予定である。

これまで実証実験を行なう場合は、個別認証(車両1台ごとの検査制度:SVA=Single Vehicle Approval)を取得したうえで行なっていたが、今回「バーグマン フューエルセル スクーター」がその高い環境性能、安全性能が認められ、燃料電池搭載車として世界で初めて「欧州統一型式認証」を取得した。スズキでは、今後欧州域内の水素ステーション等のインフラ整備の進展状況にあわせ、環境性能に優れた燃料電池スクーターの普及に努めていく。

「バーグマン フューエルセル スクーター」は、街乗りに適したスクーター「バーグマン」をベースに、軽量コンパクトな空冷式燃料電池を搭載し、水素タンクをフレーム内にレイアウトしている。燃料電池で発電した電力でモーターを駆動し、水だけを排出する環境性能に優れた二輪車として実用化に取り組んできた。

(*1) WVTA: 欧州においては、車両の販売を行う際にEU(欧州連合)の各加盟国毎の型式認証を個別に受ける必要があるが、「欧州統一型式認証:WVTA= Whole Vehicle Type Approval」の取得により、全ての加盟国での販売が可能となる。

(*2) TSB (Technology Strategy Board): イノベーション、新製品、新規サービス等、産業振興の為、資金援助などを通して技術開発の促進を図っている英国の政府機関。